

化学知財DXの革命：三井化学AIエージェントと世界ツールの2026年最前線比較

三井化学AIエージェント： 驚異の「1カ月を1日に」



文献調査時間を80%以上削減

従来1カ月程度を要していた新製品アイデア探索や文献調査が、AIエージェントによりわずか1日で完了。



文献1万件を自律的に 読解・分析



PDFから化学構造式（OCSR）とテキストを同時に読み取り、用途、物性、製造方法をまとめたレポートを自動生成。



自律的な「情報の補強」機能

入力された文献に情報が不足している場合、AIが自ら外部データベースやWebサイトを検索して内容を補完。

三井化学のAI開発ロードマップ



2022年

IBM Watsonによる用途探索開始
20部門で利用され、100以上の新規用途を発見する成果を上げる。

2024年

化学特有業務向け生成AIチャット
実験結果の表読み取りや構造式理解に対応し、業務時間の80%削減を達成。

2026年

構造式対応AIエージェント本格稼働
マルチモーダルLLMを搭載し、自律的な文献調査リサーチを実現。

2026年・主要ツールの実務比較

	構造式 画像認識	マーカッ シュ検索	自律 Agent 機能	主な用途・ 強み
三井化学 AI	◎ 極めて高い 高精度	△ 対応	◎ AIネイティブ 推論統合	社内R&D・ 用途探索の 高速化
CAS SciFinder	○	◎	◎	包括的検索・ 化学情報の 百科事典
Derwent (Clarivate)	◎	◎	◎	FTO・法的判 断の信頼性
Patsnap Eureka	◎	○	◎	R&Dプラット フォーム統合型
Reaxys (Elsevier)	○	○	◎	自然言語による 高度な文宣発見

実務における「使い分け」の結論



三井化学AI：研究開発・IPランドスケープ向き
大量の文献から「技術の種」や「傾向」を爆速で抽出することに特化しており、社内知見との統合に強い。



今後の焦点は「ハイブリッド設計」
自社開発AIで効率化しつつ、法的リスクの高い部分は商用DBを併用するハイブリッドなワークフローが2026年の標準。

商用ツール：
FTO・法的侵害判断向き



法的なリスクを伴う調査には、人手でキュレートされた正確なマーカッシュ索引を持つ商用DB+専門家のレビューが依拠として不可欠。